

令和4年度 社会福祉法人郡山市社会福祉協議会 事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

『誰一人取り残されない 安全・安心な地域共生のまち 郡山』 の実現をめざして(『第5次地域福祉活動計画』基本理念)

本会では、令和4年度から『誰一人取り残されない 安全・安心な地域共生のまち 郡山』を基本理念とする『第5次地域福祉活動計画』に基づき、各種の地域福祉推進事業に取り組みました。本計画は郡山市が策定した『第4期郡山市地域福祉計画』に呼応した4か年を期間とした民間の実践的な行動計画であり、令和4年度は計画の初年度として、特に以下の事業について重点的に、さらには新たな取り組みとして実施いたしました。

第一に、今年度も各種事業の実施にあたり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、特に「集いの場」の活動を縮小し、地域によっては友愛訪問などの「訪問による見守り活動」の拡充を図ってきました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済的な影響を受けた多くの生活困窮者世帯等に対する相談支援事業として、生活福祉資金貸付事業（特例貸付）による対応を中心に、郡山市が設置している「自立支援相談窓口」（生活困窮者自立支援事業）との連携を強化しながら、相談・支援活動に取り組みました。

第二に、令和4年4月より「福祉まるごと相談事業」を郡山市から受託し、相談員1名を「自立支援相談窓口」に配置することにより「ダブルケア」や「8050問題」など複合的な課題を抱える世帯の相談・支援活動を実施するとともに、アウトリーチ活動の充実による継続的な支援に取り組みました。

第三に、今後の超高齢化社会を見据え、地域社会における権利擁護体制の構築に向け、令和4年4月より「成年後見制度の利用の促進に関する法律」に定める権利擁護支援の中核機関として、「郡山市成年後見支援センター」業務を郡山市から受託し、成年後見制度に関する各種相談業務やセミナー等の開催による成年後見制度や成年後見支援センターの周知・広報活動に努めました。

第四に、東日本大震災及び福島第一原発事故避難者支援として、令和4年度から新たに「地域支援コーディネーター」3名を配置し、復興公営住宅等とその地域との関係づくりや生活課題解決に向けた生活支援サービスとして、新たに「買い物支援バス」を企画するなど、避難者に対する日常生活支援に取り組みました。

第五に、障がい児（者）が、ライフステージに応じた地域での生活を安心・安全に送ることができるよう、令和4年4月から「福島県障害児（者）地域療育等支援事業」を福島県から受託し、地域における障がい児（者）に対する相談支援体制の整備を支援するとともに、専門的な相談支援及び療育支援等に取り組みました。

なお、具体的な事業は、以下のとおり実施しました。

1. 組織・財政及び活動基盤の強化 ～組織・財政～

(1) 理事会・評議員会等の運営

① 理事会

○ 令和4年6月8日付決議 新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議 (議決事項)

- ・令和3年度事業報告について
- ・令和3年度会計決算報告について
監査報告
- ・令和4年度資金収支補正予算について
- ・たすけあい一時資金原資の欠損処理について
- ・定款の一部を改正する定款について
- ・評議員選任候補者の推薦について
- ・評議員選任・解任委員会委員の選任について
- ・評議員選任・解任委員会の招集について
- ・役員（理事）候補者の承認について
- ・定時評議員会の招集について

(報告事項)

- ・令和3年度資金収支補正予算の専決について
- ・事務局長の任免について
- ・職員就業規則の一部を改正する規則の専決について
- ・経理規程の一部を改正する規程の専決について
- ・令和4年度資金収支補正予算の専決について
- ・会長及び常勤副会長の職務の執行状況について

○ 令和4年11月30日付決議 新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議 (議決事項)

- ・職員就業規則の一部を改正する規則について
- ・嘱託職員等の雇用に関する規程の一部を改正する規程について
- ・評議員選任候補者の推薦について
- ・評議員選任・解任委員会の招集について
- ・役員（理事）候補者の承認について
- ・評議員会の招集について

(報告事項)

- ・令和4年度資金収支補正予算の専決について
- ・会長及び常勤副会長の職務の執行状況について
- ・令和4年度中間事業報告について
- ・令和4年度歳末たすけあい運動配分事業について

- 令和5年3月2日付決議 新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議
(議決事項)
 - ・職員就業規則の一部を改正する規則について
 - ・職員給与規程の一部を改正する規程について
 - ・嘱託職員等の雇用に関する規程の一部を改正する規程について
 - ・役員等賠償責任保険の契約について
 - ・令和4年度資金収支補正予算について
 - ・令和5年度事業計画について
 - ・令和5年度資金収支当初予算について
 - ・評議員会の招集について

- 令和5年3月20日付決議 新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議
(議決事項)
 - ・役員(理事)候補者の承認について
 - ・評議員会の招集について

- 令和5年3月28日付決議 新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議
(議決事項)
 - ・副会長の選定について

② 評議員会

- 令和4年6月23日付決議 新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議
(議決事項)
 - ・令和3年度事業報告について
 - ・令和3年度会計決算報告について
監査報告
 - ・令和4年度資金収支補正予算について
 - ・たすけあい一時資金原資の欠損処理について
 - ・定款の一部を改正する定款について
 - ・役員(理事)の選任について

(報告事項)

 - ・令和3年度資金収支補正予算の専決について
 - ・令和4年度資金収支補正予算の専決について

- 令和4年12月9日付決議 新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議
(決議事項)
 - ・役員(理事)の選任について

(報告事項)

 - ・令和4年度資金収支補正予算の専決について
 - ・令和4年度中間事業報告について
 - ・令和4年度歳末たすけあい運動配分事業について

- 令和5年3月17日付決議 新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議
(決議事項)
 - ・役員等賠償責任保険の契約について
 - ・令和4年度資金収支補正予算について
 - ・令和5年度事業計画について
 - ・令和5年度資金収支当初予算について
 - ・役員（理事・監事）候補者選出団体の選定について

- 令和5年3月27日付決議 新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議
(決議事項)
 - ・役員（理事）の選任について

③ 監事会

- 令和4年5月26日（木）開催
 - ・令和3年度事業及び会計決算について監査実施

④ 評議員選任・解任委員会

- 令和4年6月22日（水）開催
(協議事項)
 - ・評議員選任・解任委員会委員長の互選について
(議決事項)
 - ・評議員の選任について
- 令和4年12月8日付決議 新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議
(議決事項)
 - ・評議員の選任について

(2) 専門委員会（組織・財政委員会、企画委員会）の開催

① 企画委員会

- 第1回 令和4年5月20日付決議
新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議
協議事項 1. 「令和3年度事業報告（案）」について
- 第2回 令和4年8月24日付決議
新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議
協議事項 1. 令和4年度「歳末たすけあい運動配分事業」について
報告事項 1. 「郡山市成年後見支援センター」について
2. 協議体の進捗状況について
- 第3回 令和4年11月18日付決議
新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議
協議事項 1. 「令和4年度歳末たすけあい運動配分事業」について

- ①令和4年度歳末たすけあい運動配分事業における申請の審議について
- ②令和4年度「クリスマスケーキプレゼント事業」の実施について

報告事項 1. 令和4年度中間報告について

○ 第4回 令和5年2月20日(月)開催

・正・副委員長の互選

協議事項 1. 令和5年度事業計画(案)について

- ①基本方針
- ②重点目標
- ③事業実施説明書

(3) 社協会員の加入促進 ～自主財源の状況～ () は対前年度比

① 社協会員の加入状況

① 一般会員	81,795件 (-496件)	25,517,350円 (-64,700円)
② 法人会員	387件 (-2件)	4,110,000円 (-45,000円)
③ 団体会員	10件 (±0件)	70,000円 (±0円)
④ 賛助会員	375件 (-6件)	603,000円 (+22,500円)
合計	82,567件 (-504件)	30,300,350円 (-87,200円)

② 福祉基金

基金額 160,065円 (±0円)

③ ボランティア基金

基金額 259,901,423円 (+138,035円)

④ 寄付金

① 一般寄付	38件 (-12件)	1,238,542円 (-3,422,696円)
② 福祉基金へ寄付	0件 (±0件)	0円 (±0円)
③ ボランティア基金へ寄付	6件 (+3件)	138,035円 (+27,899円)
④ 施設・団体への指定寄付	20件 (-1件)	1,031,140円 (-1,148,980円)
合計	64件 (-10件)	2,407,717円 (-4,543,777円)

⑤ 物品寄付

受入 74件 (-3件) 配分先 264件 (-13件)

(4) 法人運営・事業経営の強化 (総合企画・部門間調整、財務・人事・労務管理・法務等の適切な管理)

① 所属長会議の開催

- 毎月開催し、所属ごとの事業実施状況の報告と進捗状況の確認、翌月の事業実施予定及び日程等の把握

- ② 衛生委員会の設置及び開催
 - 毎月開催し、職員の健康や快適な職場環境づくりのための審議等を実施
- ③ 地区社会福祉協議会事業推進連絡会議の開催
 - 毎月開催し、地区社会福祉協議会の事業実施にかかる手法等について育成・指導を実施
- ④ 令和4年度 職員向け研修会
 - 日 時：令和5年1月16日（月）
 - 会 場：市総合福祉センター 5階 集会室
 - 内 容：ワークショップ「今こそふくしまにCAPを広げよう！」
～子どもへの暴力防止プログラム～
講師 CAPこおりやま 松本 美津子 氏
 - 参加者：20人

(5) 『第5次地域福祉活動計画』進行管理委員会の開催

令和4年度は、『第5次地域福祉活動計画』の1年目として各種事業に取り組んでおり、各種事業の実施状況等の進行管理を行うため、進行管理委員会を開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議に変更した。

- 令和5年2月15日決議 新型コロナウイルスの感染防止の観点から書面審議

2. 住民主体の多様な地域福祉活動の展開へ ～ひとづくり・まちづくり～

(1) 『地区社協・支部社協連絡会議』の開催

- 令和5年3月24日 書面送付
新型コロナウイルスの感染防止の観点から、書面送付

(2) 地区社協・支部社協『部会活動推進連絡会議』の開催

① 『募金部会連絡会』

令和4年9月20日（火）に開催を予定したが、台風14号により中止し、書類送付に変更して開催した。

- 内 容：1. 社会福祉関係募金の趣旨と用途について
- 2. 共同募金の募金実績について
- 3. 令和3年度共同募金による令和4年度配分団体の配分金活用報告について
- 4. 新型コロナウイルス感染症対策による「募金活動実施にあたっての衛生配慮に係るガイドライン」について
- 5. 令和4年度赤い羽根共同募金並びに歳末たすけあい募金について

② 『児童福祉推進部会研修会』

期 日：令和4年10月25日（火）

※新型コロナウイルスの感染防止の観点から、午前・午後に分けて開催

会 場：市総合福祉センター 5階 集会室

内 容：1. 講話「子育てサロンの意義と実践について」

講師 郡山市こども子育て支援企業組合

理事 屋代 京子 氏（元郡山大成保育所長）

2. 手遊びやからだを使った遊びで楽しみましょう！

「だるまさんが転んだ！」選手権

参加者 76 人

③ 『広報研修部会研修会』

期 日：令和4年11月16日（水）18日（金）

※新型コロナウイルスの感染防止の観点から、2日間に分けて開催

会 場：市総合福祉センター 5階 集会室

内 容：講義・実践「だれでも作れる広報紙～広報紙の作り方～」

講師：郡山市広聴広報課職員

参加者：40 人

④ 『在宅福祉サービス部会研修会』

期 日：令和4年12月14日（水）

※新型コロナウイルスの感染防止の観点から、午前・午後に分けて開催

会 場：市総合福祉センター 5階 集会室

内 容：1. 実践報告『コロナ禍の在宅福祉サービス部会の取り組みについて』

報告者 郡山地区社会福祉協議会緑ヶ丘支部

2. 講義『フレイルに負けない体づくり』

講師：郡山健康科学専門学校

参加者：54 人

(3) 地区社協・支部社協における住民主体の『地域住民支え合い活動』の推進・支援（地域福祉活動への助成）

① 地域福祉活動への助成

		対前年度比
① 地区社協運営費	21,940,580円	-45,405円
② 地域福祉推進費交付額 (直近の国勢調査結果に基づく世帯数@35円)	4,885,895円	+56,175円
③ ボランティア活動保険助成額(@150円) (1,424人分)	213,600円	+4,800円 (+32人)

② 地域福祉活動費（在宅福祉サービス推進費）の助成

○集いの場の構築

○訪問による見守り活動

			対前年度比
集いの場の構築に係る活動費交付総額		2,581,800円	+43,100円
内 訳	① 会食会（参加者@300円）	1,058,700円	+177,900円
	② 茶話会（参加者@50円）	490,550円	+19,500円
	③ 会場費補助（開催か所@250円）	249,250円	+36,000円
	④ 子育てサロン（参加親子組数@300円）	150,900円	+15,300円
	⑤ 世代間交流（参加者@200円）	632,400円	-205,600円

			対前年度比
訪問による見守り活動に係る活動費交付総額		5,119,600円	+471,280円
内 訳	① 配食サービス（配食先数@240円）	3,066,000円	+560,880円
	② 友愛訪問（訪問件数@200円）	2,053,600円	-89,600円

(4) 第2層協議体の開催支援及び運営支援

地域における生活課題やその課題を解決するために必要な生活支援について、また、介護予防に資する集いの場の創設を住民同士が話し合う「第2層協議体」の開催支援及び協議体設置に向けた勉強会の開催などに取り組んだ。（38か所の設置目標に対して計36か所設置済み。）

また、新型コロナウイルス感染症の影響により従来の活動に加え、以下の活動を積極的に実施した。

- ① 新型コロナウイルス感染予防の周知、健康体操に関するチラシの作成・配付
- ② 地域資源の情報収集・取材活動

○未設置の地区における第2層協議体設置の進捗状況

現在、生活支援コーディネーターが未設置の地区に対して働きかけを行い、地域の関係機関・団体と設置に向けた説明会、勉強会の開催について調整を行った。

また、生活支援コーディネーターが、各方部民生委員協議会定例会や区長会等に順次出席し、協議体への理解を得るための説明及び設置への協力依頼を行った。

※新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら参加・招集を行った。

(5) 『生活支援コーディネーター』の活動の充実

本市における生活支援体制整備事業の取り組みを推進する郡山市第1層生活支援コーディネーター業務を平成29年度から受託し職員1名を配置したが、平成30年4月からは郡山市第2層生活支援コーディネーター業務を受託し、現在は計12名で活動を進めている。

① 第1層生活支援コーディネーターの活動実績

活 動 区 分	件数
①関係者との打ち合わせ、事業説明等に関すること	71
②地区説明会に関すること	0
③協議体の開催に関すること	32
④地域のニーズや資源の見える化に関すること	103
⑤担い手の育成に関すること	23
⑥ニーズとサービスのマッチング	6
⑦その他	80
合 計	315

② 第2層生活支援コーディネーターの活動実績

活 動 区 分	件数
①関係者との打ち合わせ、事業説明等に関すること	591
②地区説明会に関すること	14
③協議体の開催に関すること	207
④地域のニーズや資源の見える化に関すること	1,164
⑤担い手の育成に関する事	91
⑥ニーズとサービスのマッチング	162
⑦その他	2,459
合 計	4,688

(6) ボランティアセンターの運営及びボランティアコーディネートの充実

ボランティアコーディネート業務の充実を図るため、ボランティア登録内容の更新手続き等を行った。新型コロナウイルス感染症の拡大により、ボランティアについても活動自粛を余儀なくされたが、調整件数や相談件数は増加した。コロナ禍であることを踏まえ、地域に出向くアウトリーチ型の「福祉教育」を積極的にすすめる、ボランティアコーディネート業務の充実を図った。

① ボランティア関係相談の受付状況

相談区分	件数	対前年度比
① ボランティアをしたい・ボランティアを求む 上記に対するボランティアの調整件数	769 192	+263 +162
② 実践者等からの活動上の相談・連絡調整	258	+34
③ ボランティア・市民活動に関する情報提供	609	-194
④ ボランティア活動保険等に関する相談	668	-5
⑤ 器材貸出などボランティア学習に関する相談	389	+121
合 計	2,693	+219

② ボランティア新規登録数

【新規登録】 団体登録 7団体 (35人)、個人登録 33人

【団体登録】 総数 97団体 (17,408人)、個人登録者総数：86人

- ③ ボランティア活動保険の加入促進
加入者総数 5,426 人 (対前年度比+105 人)
※うち助成対象者 1,424 人

(7) 出前ボランティアスクール (講座) の開催

- ① 郡山水と緑の案内人の会
期 日：令和4年5月11日(水)・12日(木)・25日(水)・26日(木)
会 場：市総合福祉センター、開成山公園
内 容：講義「車いす講習」
参加者：17人
- ② 第一学院高等学校郡山キャンパス
期 日：令和4年5月27日(金)
会 場：第一学院高等学校郡山キャンパス
内 容：福祉教育『はじめてみよう！ボランティア活動』
参加者：19人
- ③ 郡山市立大槻小学校4年生
期 日：令和4年5月30日(月)・31日(火)
会 場：郡山市立大槻小学校
内 容：福祉教育『ブラインドウォーク』・『高齢者疑似体験』
参加者：111人
- ④ 郡山市立喜久田中学校1年生
期 日：令和4年6月28日(火)
会 場：郡山市立喜久田中学校
内 容：福祉教育『ブラインドウォーク』
参加者：45人
- ⑤ NPO法人ぴいかあぶう
期 日：令和4年8月18日(木)
会 場：市青少年会館
内 容：福祉教育『高齢者疑似体験』
参加者：25人
- ⑥ 郡山市立守山小学校4年生
期 日：令和4年9月9日(金)
会 場：郡山市立守山小学校
内 容：福祉教育『ブラインドウォーク』
参加者：63人
- ⑦ 郡山市立第一中学校2年生
期 日：令和4年9月21日(水)
会 場：郡山市立第一中学校
内 容：福祉教育『車いす体験』・『ブラインドウォーク』・『高齢者疑似体験』
参加者：243人

⑧ 郡山市立宮城小学校 3・4年生
期 日：令和4年9月29日（木）
会 場：郡山市立宮城小学校
内 容：福祉教育『高齢者疑似体験』
参加者：6人

⑨ あさかの学園大学
期 日：令和4年11月30日（水）、12月21日（水）
会 場：ビッグアイ郡山
内 容：シニアボランティア養成講座
参加者：36人

(8) “たすけあい活動”助っ人隊養成講座の充実

① 向館町内会（出前講座）
期 日：令和4年9月16日（金）
会 場：向館ふれあい会館
参加者：9人

② 市内在住者対象（市総合福祉センターでの参集型）
期 日：令和4年9月28日（水）
会 場：市総合福祉センター
参加者：8人

③ 大成方部民生児童委員協議会（出前講座）
期 日：令和5年3月6日（月）
会 場：大成地域公民館
参加者：17人

(9) 災害救援ボランティア養成講座の開催

期 日：令和4年8月9日（火）・16日（火）
会 場：市総合福祉センター
内 容：講義 『郡山市の防災体制と災害時の活動について』
講演 『大規模災害とボランティア活動』
講義Ⅰ 『郡山市における災害ボランティアセンターの取り組みについて』
講義Ⅱ 『災害の現場について知ろう』
ロールプレイ 『クロスロードゲーム』（ボランティア編）
参加者：16人

3. 地域福祉活動への参加促進による生きがづくりへ ～いきがづくり～

(1) 住民主体の「集いの場」の拡充

項 目		回 数	参加人数
サロン	会食会	189 回	3,500 人
	茶話会	779 回	9,556 人
子育てサロン		61 回	802 組
世代間交流		35 回	3,207 人

(2) 『住民参加型在宅福祉サービス事業』“たすけあい活動”の推進

平成 30 年 4 月から、生活支援の必要な方（高齢者、障がい者、妊産婦）を対象に、普段の暮らしの「ちょっとした困りごと（ゴミだし、掃除など）」をボランティアが有償（10 分 100 円）でお手伝いする「住民参加型在宅福祉サービス事業」を開始した。

- 助っ人隊の登録会員数は 116 名
- 利用会員の登録者数は 186 名

サービス区分別利用実績

サービス区分	件数	割合
① ゴミ出し	2,897	91.3%
② 掃除・片付け	90	2.8%
③ 庭の草むしり	9	0.3%
④ 買い物	62	2.0%
⑤ 話し相手	103	3.2%
⑥ 調理	0	0%
⑦ 洗濯	0	0%
⑧ 外出の付き添い（通院・散歩）	6	0.2%
⑨ その他	5	0.2%
合 計	3,172	100%

(3) 夏・ボランティア体験プログラムの開催

2022 夏・ボランティア体験プログラム（規模を縮小し高校生のみ対象）

- 期 日：事前学習会 令和 4 年 7 月 9 日（土）
- 追加学習会 令和 4 年 7 月 15 日（金）
- 本研修 令和 4 年 7 月 25 日（月）～8 月 19 日（金）
- 事後学習会 令和 4 年 8 月 27 日（土）

会 場：本研修は市内 16 か所の福祉施設・団体で実施

内 容：ボランティア活動の体験学習

参加者：45 人

(4) 地域ぐるみ雪かきボランティアコーディネート事業の推進及び「雪かきボランティア体験プログラム in 湖南町」の開催

① 雪かきボランティア及び利用者登録状況

個人	14人
団体	11団体
利用希望者	52人

※相談・問い合わせ等があったが、積雪が少なく、4件の依頼があり、1人の雪かきボランティアが活動。

② 雪かきボランティア体験プログラム in 湖南町

【1回目】令和5年1月14日（土）に実施予定だったが、積雪状況により中止

【2回目】期 日：令和5年2月18日（土）

活動場所：湖南町福良地区、館地区、三代地区、中野地区

活動内容：高齢者ひとり暮らし世帯及び高齢者世帯10世帯の雪かき活動

参加者：14人

(5) 『福祉バス運行事業』の実施

① 運行回数：63回

○利用団体別内訳

利用団体	件数
①地区社協・支部社協	20
②高齢者・ひとり親、障がい児者の福祉団体	1
③ボランティア団体（ボランティアセンター登録団体）	3
④民児協連合会及び方部民協	3
⑤社会福祉関係団体	36
合計	63

○利用目的別内訳

利用目的	件数
①視察研修	8
②交流会	5
③いきいきサロン	1
④買い物移動支援	30
⑤学童イベント	0
⑥その他（※）	19
合計	63

※ その他の内訳は世代間交流、施設見学等

② 延べ乗車人数：699人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、乗車定員を制限。

※運行回数及び乗車人数は、下記の『高齢者買い物移動支援事業』を含む。

(6) 『高齢者買い物移動支援事業』の実施

○実績 実施回数 5回(対前年度比 +2回)
参加人数 60人(対前年度比 +18人)

地区社協名	実施回数	参加人数
安積	3回	45人
富久山	1回	10人
西田	1回	5人

(7) 郡山市高齢者作品展の開催

- ① 実行委員会総会（書面審議）
期 日：令和4年8月9日付決議
内 容：(1)令和4年度実行委員会会則（案）について
(2)令和4年度作品展開催要項（案）について
(3)令和4年度収支予算（案）について
- ② 審査会
期 日：令和4年12月7日（水）
会 場：けんしん郡山文化センター
- ③ 一般公開
期 日：令和4年12月9日（金）～11日（日）
会 場：けんしん郡山文化センター
特賞受賞作品：20点
出品者数：1,347人
来場者数：延べ531人
- ④ 特賞受賞作品の作品展示
期 日：令和5年1月16日（月）～2月3日（金）
会 場：郡山市健康長寿課前

(8) 歳末たすけあい運動募金配分事業の実施

- ①各地区社協・支部社協をはじめ、市内のボランティア団体、NPO活動団体等、約200の団体に対し配分事業についての周知と募集を行い、申請のあった延べ59団体に対して配分を行った。

() は対前年度比

○配分金総額 4,235,264円 (+482,264円)

- ・ご近所除雪事業 13,000円 (+1,000円)
- ・クリスマス会事業 2,122,097円 (+341,097円)
- ・年末年始見回り事業 447,000円 (+6,000円)
- ・おせち配食事業 932,000円 (+32,000円)
- ・子ども食堂事業 107,000円 (+75,000円)
- ・新年会事業 614,167円 (+27,167円)

- ②郡山市内で活動している子ども食堂やファミリーホーム（小規模住居型児童養育事業）実施団体を対象にクリスマスケーキをプレゼントする事業を行った。

○配付内容

- ・クリスマスケーキ 21個（ホールケーキ※6名につき1ホールずつプレゼント）
- ・お菓子の詰め合わせ 508個

※(株)ヨークベニマルから協賛をいただき、635人分のお菓子セットを併せてプレゼントした。

4. 一人も見逃さない支援体制の構築へ ～つながりづくり～

(1) 住民主体の訪問による見守り活動の拡充

項目	回数	参加人数
配食	140回	12,585人
友愛訪問	133回	9,833人

(2) 福祉なんでも相談事業の推進（アウトリーチ機能の強化）

各地区で開催されている「いきいきサロン」や「子育てサロン」などの集いの場に、福祉活動専門員及び生活支援コーディネーターが訪問し、運営に参加しながら地域の困りごとや課題の把握及び社会資源の情報提供を行うなど、地域における相談窓口として機能する体制の構築に努めた。

また、地域包括支援センターが主催する地域ケア圏域会議に出席し、専門職との連携・強化に努めた。

(3) 生活困窮者に対する支援事業の実施

① 自立支援相談窓口の対応（郡山市受託事業）

郡山市が設置する「自立支援相談窓口」業務の一部を受託し、相談支援員として職員3名を配置し、『暮らし』や『仕事』などの経済的な困り事を抱える生活困窮世帯等からの相談・支援に応じた。

- 相談受付延べ件数：2,867件（対前年度比-705件）
（うち新規相談件数：652件 継続相談件数：2,215件）

② 『就労準備支援事業』の実施（郡山市受託事業）

令和元年6月から生活困窮者自立支援法に基づく郡山市生活困窮者就労準備支援事業を郡山市より受託した。様々な事情から「就労」につながりにくい生活困窮者に対して、ボランティア活動への参加、就労意欲の喚起、就労体験の実施などの多様な支援を通じて就労に向けた準備を整え、就労の定着に向けた個別の支援プログラムを作成し、支援メニューの提供を行った。

- 利用希望者等との面談・相談・支援延べ件数：401件（対前年度比+68件）
- 支援プログラム作成延べ件数：25件（対前年度比-5件）

③ 『福祉まるごと支援事業』の推進（郡山市受託事業）

令和4年4月から郡山市が設置する「福祉まるごと相談窓口」業務を受託し、相談員として職員1名を配置し、『ダブルケア』（子育てと介護）や『8050問題』（高齢の親と無職の子が同居している等の世帯）などの複合的な課題の解決を支援するため、相談員が様々な相談機関につなぐなどの支援を行った。

- 相談受付延べ件数：367件
（うち新規相談件数：94件 継続相談件数：273件）

④ 「こおりやまフードバンク事業」の実施

郡山市の「自立支援相談窓口」と連携し、経済的な自立に向けた支援の一環として「こおりやまフードバンク事業」を実施。緊急的な支援を必要とする相談者に対し、食料品等を提供した。

- 提供件数：64件（対前年度比-95件）

⑤ スマイルサニタリープロジェクトの実施

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、収入の減少などによる経済的事情により生理用品等を購入できない女性に対し、生理用品等を無償で提供している。（※令和3年8月10日～事業開始）

- 生理用品等の提供を行った件数：38件
- 生理用品等の寄付を受けた件数：14件

(4) 生活福祉資金貸付事業の実施（県社協受託事業）

福島県社会福祉協議会からの受託事業として実施。他の貸付制度が利用できない低所得世帯や高齢者世帯、障がい者世帯などの経済的自立と生活の安定を図るため、無利子または低利子で資金の貸付を行った。

生活福祉資金貸付事業の推進状況一覧

（ ）は対前年度比

No.	資金種類	申込取次件数	貸付決定金額
①	総合支援資金		
	生活支援費（新規申込）	0件（ -2）	0円（ -240,000）
	生活支援費（延長申込）	0件（ -3）	0円（ -660,000）
	住宅入居費	0件（ ±0）	0円（ ±0）
	一時生活再建費	0件（ ±0）	0円（ ±0）
②	福祉資金		
	福祉費	1件（ +1）	294,000円（ +294,000）
	緊急小口資金	8件（ -12）	410,000円（ -887,000）
③	教育支援資金	0件（ -2）	0円（ -1,250,000）
④	不動産担保型生活資金	0件（ ±0）	0円（ ±0）

⑤	臨時特例つなぎ資金	3件 (+2)	80,000円 (+50,000)
⑥	生活復興支援資金	0件 (±0)	0円 (±0)
	合 計	12件 (-16)	784,000円 (-2,693,000)

(5) たすけあい一時資金の貸付事業の実施

たすけあい一時資金の貸し付け状況一覧 () は対前年度比

貸付総数	貸付総額	一般貸付		福祉事務所経由	
		件数	貸付金額	件数	貸付金額
46件 (-27)	1,088,000円 (-885,000)	1件 (-2)	25,000円 (-95,000)	45件 (-25)	1,063,000円 (-790,000)

(6) 東日本大震災及び福島第一原発事故避難者支援の実施 (県社協受託事業)

① 避難者生活支援相談員の配置

避難者生活支援相談室長 1 名、主任生活支援員 1 名、生活支援相談員 6 名、避難者地域支援コーディネーターを 3 名配置し、避難者支援を推進した。

② 県中・県南・会津地区被災者見守り・相談支援連絡会議(調整会議)

(5/10・6/13・7/13・8/19・9/13・10/18・11/24・12/20・1/26・2/22)

<参加団体>

福島県社協、県中・県南・会津市町村社会福祉協議会、避難元、避難先行政、各関係機関等

③ 生活支援相談員等配置市町村社会福祉協議会に対する訪問事業

(6/6・1/18)

福島県避難者生活支援・相談センター事業の方向性と令和 5 年度事業方針について

<参加団体>

福島県社協、郡山市社協

④ 避難者生活支援コーディネーター連絡会議並びに地域支援コーディネーター研修会

(4/21・6/29・11/16・11/17・3/9)

避難者地域支援コーディネーター事業の概要

『避難者地域支援コーディネーターに求められるコミュニティソーシャルワーク』
について

⑤ 被災者・避難者支援にかかる避難元・先民生児童委員協議会並びに避難元・先社会福祉協議会合同情報交換会にかかる事前勉強会 (10/7)

郡山市民生児童委員協議会連合会、郡山市社協

⑥ 被災者・避難者支援にかかる避難元・先民生児童委員協議会並びに避難元・先社会福祉協議会合同情報交換会 (10/12)

<参加団体>

福島県社協、避難元・先民生児童委員、避難元・先社会福祉協議会

⑦ 県中地区復興公営住宅見守り連携会議

(6/23・7/22・9/7・10/14・11/21・1/10・2/7・3/7)

福島県復興公営住宅における支援体制について

効率的な避難者支援活動を行うため、関係機関相互で情報共有と共通認識を図り、支援機関の連携を強化することを目的とする。

<参加団体>

福島県社協、避難元社協、避難先社協

⑧ 復興公営住宅入居者実態調査

(7/22・8/25・9/9)

⑨ 県中・県南・会津地区被災者見守り・相談支援連絡会議（調整会議）

(5/16・6/13・7/13・8/4・9/13)

県中・県南・会津において、被災者支援業務に従事する避難元・避難先社協、各関係機関等が一堂に会し、情報共有と緊密な連携等を図ることを目的に、連絡会議（調整会議）を開催している。（福島県社協主催）

<参加団体>

福島県社協、避難元社協、郡山市社協

⑩ 生活支援相談員テーマ別研修

10/26 福島第一原子力発電所等視察研修

10/27 心のケア研修

11/1・2 支援の取組み状況について岩手県社協（岩手県社協・大槌町社協）

11/30 生活支援相談員研修

3/14・15 岩手県社協視察研修・LINEの活用について（陸前高田市社協・矢巾町社協）

3/16 心のケア研修

⑪ 社内研修

ヤングケアラーについて学ぶ（12/2）

⑫ 三春地区避難者見守り連携会議（12/13）

三春地区における避難者支援体制について意見交換

⑬ みんぷく自治会交流会（2/16）

⑭ 福島県被災者見守り・相談支援調整会議（8/4・2/24）

⑮ その他 関連事業

日和田団地 清掃ボランティア (3/8)
キャンドルナイト／復興の灯火プロジェクト 2023 (3/11)

⑯ 市内におけるサロン等の活動支援

市内復興公営住宅集会所で行われるサロン等は、新型コロナウイルス感染防止対策のため自粛となり支援活動は出来なかった。

各避難元社協（富岡町・大熊町・双葉町）や関連団体が主催するイベント等の支援も同様に自粛となる。

⑰ 市内の復興公営住宅、借り上げ住宅、再建住宅への訪問活動

市内に避難されている住民（以下「避難住民」）の自立再建を目的に、復興公営住宅や借上げ住宅、再建住宅への郡山市社協単独個別訪問、及び避難元社協（大熊町）（浪江町：60歳以上新規世帯）との同行戸別訪問を実施した。

新型コロナウイルス感染症防止対策をとりながら玄関先にて短時間の見守り訪問（世帯の状況により室内での訪問あり）や電話での様子伺い、世帯状況に合わせ訪問を実施した。

5月・9月は大熊町社協との同行訪問実施。

不在世帯は再訪問にて、見守り強化(孤独死等を防ぐ)している。

⑱ 避難者向けサロン事業『コミュニティサロン Rococo～ろここ～』の開催

避難住民の交流促進の場づくりと、趣味や生きがいをもち充実した日常生活を送ることを目的として「お出かけ・施設見学・物づくり」等のサロンを開催。

新型コロナウイルス感染症予防対策(参加人数の見直し等含)を行いながら実施した。

実施内容：物づくり、施設見学等

4/5 お出かけサロン「いちご狩り」（須賀川ストロベリーパラダイス）

6/7 フラワーアレンジメント教室

7/5 陶芸教室

8/2 陶芸教室

9/15 お出かけサロン「双葉町・浪江町へ行こう」

10/4 花の寄せ植え教室

参加者：延べ80人（コロナ感染症のため、人数制限あり）

⑲ 地域コミュニティ復興支援事業の開催

健康づくり事業

避難住民と市民との交流の場と日ごろの運動不足解消、更には健康寿命を延ばすことを目的として開催。

実施内容：健康体操教室

4/21・5/19・6/16・7/19・9/20・10/14・1/17・2/21・3/7（9回）

会場：市総合福祉センター

参加者：77人

実施内容：グランドゴルフ

11/15

会 場：バーデングランド・ゴルフクラブ

参加者：14人

⑳ 訪問実績

復興公営住宅、借上・再建住宅への単独訪問及び避難元社協との同行訪問

訪問対象世帯 838世帯 1,541人

(世帯数)

	対象世帯・人数 (R4.4)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
郡山市社協単独訪問	富岡町 376世帯 745人	98	121	154	86	240	122	821
	大熊町 81世帯 128人	30	2	38	28	69	14	181
	双葉町 124世帯 199人	48	44	39	49	71	40	291
	浪江町 194世帯 385人	47	80	64	63	109	65	428
	川内村 2世帯 2人	2	2		1	2		7
	市民	2	1	4	3	8	3	21
	広野町 1世帯 2人	1		1	1	2	1	6
	南相馬 3世帯 3人			1	1	4		6
	その他						2	2
小計	781世帯 1,464人	228	250	301	232	505	247	1,763
同行訪問	大熊町		56				69	125
	その他							
合計		228	306	301	232	505	316	1,888

	対象世帯・人数 (R4. 10)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
郡山市社協単独訪問	富岡町 424世帯 817人	82	136	162	91	127	96	694
	大熊町 81世帯 128人	34	28	38	83	21	39	243
	双葉町 126世帯 204人	38	61	43	62	42	37	283
	浪江町 194世帯 385人	70	91	78	97	54	49	439
	川内村 2世帯 2人	1			2			3
	市民 7世帯 10人	2	3	2	2	3	1	13
	広野町 1世帯 2人	1	2	1	1		1	6
	南相馬 3世帯 3人	2	2	2	2		2	10
	その他						1	1
	小計 838世帯 1,551人	230	323	326	340	247	226	1,692
同行訪問	浪江町 84世帯					25	19	44
	楡葉町 1世帯 1人		1		1	1	1	4
	小計 923世帯 1,552人	230	324	326	341	273	246	1,740
	合計	458	630	627	573	778	562	3,628

(7) 令和元年東日本台風（台風第19号）被災者支援の実施

郡山市台風19号生活支援・地域ささえあいセンター事業

高齢者等要配慮者見守り支援

<目的・内容>

令和元年台風19号豪雨災害による被災を原因として避難した市民が、現に居住する地域において、安定的な日常生活を営むことができるよう支援する。

住宅被災により公営住宅、仮設住宅等に入居している高齢者等要配慮者の世帯を訪問・電話等により見守り支援を行う。相談や情報提供及び関係機関へのつなぎと連携による支援活動を行う。

○ 訪問実績

対象世帯・人数 28世帯・41人

(世帯数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
訪問	在宅	2	3	4	6	8	8	31
	不在	2	8	5	5	10	4	34
電話			2	2	3			7
来所			1		2			3
他機関連携								0
転居								0
小計		4	14	11	16	18	12	75

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	在宅	9	4	9	4	6	5	37
	不在	6	12	4	2	6	4	34
電話		3	1	5	1			10
来所				2				2
他機関連携								0
転居						1		1
小計		18	17	20	7	13	9	84
合計		22	31	31	23	31	21	159

(8) 災害等被災者への生活支援事業の実施 () は、対前年度比

- ① 見舞金交付：全焼・全壊 11件 350,000円 (-4件・-140,000円)
 半焼・半壊 1件 15,000円 (+1件・ +15,000円)
 床上浸水 0件 0円 (±0件・ ±0円)
 弔慰金 1件 10,000円 (±0件・ ±0円)

5. 新たな社会資源の開拓によるセーフティネットの強化へ ～しくみづくり～

(1) 重層的支援体制の構築

本会が有する相談支援機関（事業所）をワンフロアに集中させ、高齢者、障がい者、児童、生活困窮者等を対象に、福祉サービスの利用支援、日常生活支援、成年後見制度など権利擁護に関する支援、生活福祉資金やたすけあい一時資金の生活資金の貸付や就労に関する相談・支援、フードバンク事業による食料品等の提供、更には虐待問題など、幅広い生活課題・福祉課題にワン・ストップで対応できるよう包括的な相談体制を整備し、課題解決に向け個別的な相談支援を行った。

(2) 権利擁護支援活動の推進

① 成年後見制度利用コーディネート機能の充実（郡山市受託事業）

「成年後見制度の利用の促進に関する法律」に定める権利擁護支援の地域連携ネットワーク機関（中核機関）として、令和4年4月から「郡山市成年後見支援センター」業務を受託し、制度に関する各種相談業務や制度やセンターの周知・広報に努めた。

ア. 成年後見支援センターの活動実績

活 動 区 分	件数
①相談に対する助言及び申立て支援に関すること	3 1 8
②普及、啓発及び研修に関すること	2 2
③関係機関との連携に関すること	2 6 5
④市民後見人の人材育成に関すること	0
⑤専門職による個別具体的事例に応じた相談支援に関すること	2 8 2
⑥その他事業の実施に関し必要な事項に関すること	1 3
合 計	9 0 0

イ. 令和4年度成年後見セミナー（センター開所記念）

期 日：令和4年7月28日（木）

会 場：郡山ユラックス熱海 多目的ホール

内 容：第1部 講談 講師：講談師

第2部 講演 講師：司法書士

参加者：311人

※当日欠席された方への動画配信

期 間：令和4年9月1日～15日

視聴回数：第1部 講談 106回、第2部 講演 63回

ウ. 令和4年度 第2回成年後見セミナー

期 日：令和5年3月23日（木）

会 場：市総合福祉センター 5階 集会室

内 容：行政説明 郡山市地域包括ケア推進課

講義 講師：郡山女子大学講師
 パネルディスカッション コーディネーター：郡山女子大学講師
 パネリスト：司法書士・行政書士

参加者：80人

※当日参加できなかった方への動画配信

期 間：令和5年3月28日～4月30日

視聴回数：行政説明 74回、講義 79回、パネルディスカッション 42回

② 法人後見事業の実施

高齢化や核家族化の進行に伴い、単身高齢者の急増が見込まれるなか、認知機能の低下などによって、適切な金銭（財産）管理や社会生活上の法律行為を自己対処できない高齢者等に対する地域における権利擁護の推進を強化するため、成年後見制度に関する事業（法人後見事業）を行い、後見人等を受任し、判断能力が不十分な人の保護・支援を行った。

○ 受任件数：5件（内訳：後見3件、保佐1件、補助1件）

※家庭裁判所からの受任依頼6件（受任5件、受任できない1件）

③ あんしんサポート（日常生活自立支援事業）の実施（県社協受託事業）

福島県社会福祉協議会からの受託事業として実施。認知症や知的・精神障がいなどにより日常生活に不安がある方と利用契約を締結し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理サービス、重要書類等の預かりサービスなどの支援を行った。

相談・問い合わせ件数、契約締結件数 () は対前年度比

	日常生活自立支援事業の利用に関するもの				合 計
	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	
相談・問合せ件数	1,137(-431)	861(+40)	1,048(-368)	212(-14)	3,258(-773)
上記のうち新規相談者	18(-35)	7(-6)	9(-2)	11(+6)	45(-37)
当年度の契約締結件数	5(-1)	2(-3)	4(-2)	0(-1)	11(-7)
契約締結件数の累計	211	63	64	14	352
令和5年3月末日現在の契約件数					96

(3) 住宅確保要配慮者に対する相談支援の実施

高齢者、障がい者、生活困窮者など、住まいの確保に課題を抱える人（以下、「住宅確保要配慮者」）が増加していることを踏まえ、郡山市「生活困窮者自立支援窓口」などの関係機関や不動産事業所等と連携し、「住居確保要配慮者」に対する相談支援体制の強化に向けた取り組みを推進した。

なお、今後は先進的に「住居確保要配慮者」に対する居住支援を行っている団体等への視察を行うなど、具体的な支援メニューを開発し、住宅セーフティネット法に定める郡山市における「居住支援協議会」の設立に向けて、関係機関・団体との連携強化を推進するための調査・研究を行う。

さらには、郡山市内の社会福祉法人との連携による「社会福祉法人の地域における公

益的な取組」として実践できるよう研究・討議の場を設置していく。

- (4) 『社会福祉法人の地域における公益的な取組』の推進
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、未実施。

6. プラットフォーム機能の強化と福祉啓発の推進へ ～きっかけづくり～

- (1) 大規模災害時の被災者支援ネットワークの構築
（『こおりやま災害支援ネットワーク』との連携等）
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、未実施。
- (2) 社会福祉法人による連携推進会議の開催及び運営の推進
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、未実施。
- (3) ボランティア・市民活動グループ交流会の開催
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、未実施。
- (4) 郡山市民生児童委員協議会連合会への支援
- ① 郡山市民生児童委員協議会連合会への支援
 - 運営費補助金の交付 200,000 円（前年度同額）
 - ② 令和4年度総会
 - 期 日：令和4年6月1日
 - 会 場：市役所 本庁舎 2階 特別会議室
 - ③ 令和4年度臨時総会
 - 期 日：令和4年12月12日
 - 会 場：市総合福祉センター 5階 集会室
- (5) 「郡山市子ども食堂ネットワーク」への協力
- 食品や日用品をはじめとした様々な寄付物品を市内の子ども食堂へ配分した。
配分回数 8回 延べ94か所
- (6) 「こおりやま社協だより」「社協ニュース」の発行
- こおりやま社協だより及びこおりやま社協ニュースを発行し、市民への福祉に関する幅広い情報の提供に努めた。令和4年度は、社協だより1回発行、社協ニュース4回発行。
- ①社協だより
 - 発行日：令和4年7月1日（第136号）
 - ②社協ニュース
 - 発行日：令和4年5月1日（No.12）

令和4年9月1日 (No.13)

令和4年11月1日 (No.14)

令和5年2月1日 (No.15)

(7) ファミリーフェスタ2022の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から動画配信によるオンライン開催とした。

○ 動画配信期間：令和4年11月16日（水）～11月30日（水）

○ 総視聴回数：3,448回

(8) 地域福祉推進セミナーの開催

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、未実施。

(9) ホームページ・SNSによる情報提供

ホームページ及びフェイスブックによる情報提供を行った。

HP訪問者数 30,988人

(10) 認知症高齢者SOS見守りネットワーク事業への協力

徘徊し行方不明となった認知症高齢者を早期に発見するため、ICT（情報通信技術）の活用によるメール配信検索事業を実施した。

○登録支援者数：242名

○メール配信件数：4件

(11) 福島県福祉人材センター協力指定事業の受託

① 福祉の仕事相談会

期 日：毎月1回

会 場：市総合福祉センター

相談件数：22件（対前年度比-3件）

② 第1回 福祉人材センター協力指定事業担当者会議

期 日：令和4年5月13日（金）

会 場：オンライン会議

③ 第2回 福祉人材センター協力指定事業担当者会議

期 日：令和5年12月8日（木）

会 場：オンライン会議

(12) 共催事業並びに名義後援の状況 () は対前年度比

① 共催事業 0件（±0件）

② 名義後援 12件（+3件）

7. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応について

(1) 新型コロナウイルス感染対策による「新しい生活様式」下の地域福祉活動再開に向けたガイドラインの作成

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、人と人との互いに距離をとり、接触の機会を減らした「新しい生活様式」の実践が求められ、「新しい生活様式」下での地域福祉活動の一助として、令和2年6月にガイドライン（第1版）を作成。令和4年度も、随時、更新を行い、現在第3版を発行し地域福祉活動を展開した。

(2) 飛沫防止パネル・体温計等の貸出

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、各地区社協・支部社協で、感染予防策を講じたうえで活動していくため、飛沫防止パネル等の貸出。

(3) 生活福祉資金（特例貸付）の実施

福島県社会福祉協議会からの受託事業として実施。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により収入が減少した世帯に対して当面の生活費として貸付を行った。

実施期間は令和2年3月25日～令和4年9月末日まで実施。

① 緊急小口資金（特例貸付）件数及び金額

月	申込取次件数	決定件数	決定金額
4月	47 件	42 件	8,150,000 円
5月	45 件	44 件	8,350,000 円
6月	47 件	51 件	9,680,000 円
7月	26 件	31 件	6,030,000 円
8月	34 件	26 件	5,200,000 円
9月	29 件	34 件	6,550,000 円
計	228 件	228 件	43,960,000 円

【申込要件】

対象世帯：新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、収入の減少があり、緊急かつ一時的に生計維持のために貸付金を必要とする世帯

貸付上限額：1世帯 20万円以内（無利子）

据置期間：1年間 償還期限：2年以内 ※貸付決定まで2週間程度

② 総合支援資金（特例貸付）件数及び金額

月	申込取次件数	決定件数	決定金額
4月	38 件	39 件	19,650,000 円
5月	39 件	46 件	24,500,000 円
6月	33 件	33 件	17,200,000 円
7月	40 件	38 件	20,350,000 円
8月	22 件	23 件	12,100,000 円
9月	48 件	40 件	21,240,000 円
計	220 件	219 件	115,040,000 円

【申込要件】

対象世帯：新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難になっている世帯

貸付上限額：月額 15 万円以内（単身世帯） 無利子

月額 20 万円以内（複数世帯） 無利子

貸付期間：3 ヶ月間

据置期間：1 年間 償還期限：10 年以内 ※貸付決定まで 3 週間程度

(4) フードドライブ事業の実施

緊急食糧支援に対応するため、広く一般市民に食料品等の提供を呼びかける「フードドライブ事業」を実施した。この取り組みにより、当事業開始前に比べて食料品の在庫量が増加し、より多くの学生・留学生等に対して安定的に食料品を提供することが可能となった。

8. 在宅福祉サービス及び介護予防・生活支援事業の推進
～在宅福祉～

(1) ホームヘルプサービスセンター事業

① 介護保険事業

ア.（介護予防・総合事業）訪問介護事業

○利用者の状況（要介護度別）

（単位：人）

年度	介護度	事業 対象者	要支援		要介護					合計
			1	2	1	2	3	4	5	
令和4年度		12	731	676	760	386	128	54	69	2,816
令和3年度		12	829	755	843	377	112	73	68	3,069
対前年度比		±0	-98	-79	-83	+9	+16	-19	+1	-253

○収入の状況（国保連請求額）（単位：円）

年 度	令和4年度	令和3年度	対前年度比
金 額	68,324,837	74,762,623	-6,437,786

イ．（介護予防）訪問入浴介護事業

○利用者の状況（要介護度別）（単位：人）

介護度 年度	要支援		要介護					合計
	1	2	1	2	3	4	5	
令和4年度	0	0	0	0	12	31	36	79
令和3年度	0	0	11	0	7	13	35	66
対前年度比	±0	±0	-11	±0	+5	+18	+1	+13

○収入の状況（国保連請求額）（単位：円）

年 度	令和4年度	令和3年度	対前年度比
金 額	6,091,992	5,624,494	+467,498

② 障がい福祉サービス事業（居宅介護・重度訪問介護・移動支援）

○利用者の状況（単位：人）

年 度	令和4年度	令和3年度	対前年度比
人 数	582	667	-85

○収入の状況（国保連請求額等）（単位：円）

年 度	令和4年度	令和3年度	対前年度比
金 額	15,596,165	17,728,229	-2,132,064

③ 郡山市受託事業

ア．産前・産後ヘルパー派遣事業

○利用者の状況（単位：人（回））

年 度	令和4年度	令和3年度	対前年度比
人数（回数）	92（318）	70（157）	+22（+161）

○収入の状況（郡山市）（単位：円）

年 度	令和4年度	令和3年度	対前年度比
金 額	633,640	620,950	+12,690

イ．障害者在宅訪問入浴サービス事業

○利用者の状況（単位：人）

年 度	令和4年度	令和3年度	対前年度比
人 数	73	61	+12

○収入の状況（郡山市）（単位：円）

年 度	令和4年度	令和3年度	対前年度比
金 額	5,967,360	5,202,540	+764,820

ウ. いきいきデイクラブ事業

○利用者の状況

[受託地域／三穂田、喜久田、日和田、湖南、熱海、田村、中田、西田]

(単位：人)

年 度	令和4年度	令和3年度	対前年度比
利用人数	2,296	1,786	+510

※令和4年9月20日(火)、台風接近により利用者の安全を最優先し中止とした。

※一人の利用者が年間10回利用することができるようになった。

④養成・研修事業(外部研修等への職員の派遣)

研修名	期日	開催地	人数
訪問介護適正実施研修Ⅰ	7月19日・20日	Zoom研修	1
BCP策定のポイント	10月17日	Zoom研修	1
訪問介護適正実施研修Ⅱ	10月26日・27日	Zoom研修	1
訪問介護テーマ別技術向上研修Ⅱ	11月25日	Zoom研修	1
ヤングケアラー研修	12月12日	郡山市	2
業務継続計画(BCP)作成セミナー	3月7日	Zoom研修	1
		延べ人数	7

⑤ 実習生受入状況

学校・団体数	受入人数	受入日数
0か所	0人	のべ0日

※新型コロナウイルス感染症予防のため、受け入れ自粛。

⑥ 出前講座

[実習] 介護の実際

あさかの学園大学専門課程2年(健康・福祉学科)

期 日：令和4年6月1日(水)

会 場：市総合福祉センター

参加者：37人

(2) 指定居宅介護支援事業<介護保険法>

① ケアプラン作成件数等

○利用者の状況

(単位：人)

年 度	令和4年度	令和3年度	対前年度比
人 数	1,934	1,751	+183

○収入の状況(国保連請求額)

(単位：円)

年 度	令和4年度	令和3年度	対前年度比
金 額	30,621,940	27,924,850	+2,697,090

② 要介護認定調査事業等

○利用者の状況

(単位：人)

年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	対前年度比
人 数	292	249	+43

○収入の状況（郡山市等）

(単位：円)

年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	対前年度比
金 額	1, 241, 619	1, 107, 250	+134, 369

③養成・研修事業（外部研修等への職員の派遣）

研修名	期日	開催地	人数
郡山市介護支援専門員連絡協議会総会・研修会	5月20日	Zoom 研修	1
令和4年度 第1回成年後見セミナー	7月28日	郡山市	3
新任認定調査員研修	8月22日～ 23日	Zoom 研修	2
自立支援に資するケアマネジメント基本研修	10月31日	Zoom 研修	1
県中圏域精神障害者地域生活移行理解促進研修会	11月8日	Zoom 研修	2
郡山市介護支援専門員連絡協議会研修会・交流会	11月18日	Zoom 研修	7
職員の気づきと意欲を促す指導方法について	11月30日	Zoom 研修	1
医療の基本研修・介護職が知っておきたい医学の基本知識	12月1日～ 28日	Zoom 研修	4
ケアプラン作成研修・利用者の解決すべき課題（ニーズ）に沿ったケアプランの作り方	12月1日～ 28日	Zoom 研修	3
ヤングケアラーについて学ぶ	12月13日	Zoom 研修	2
アサーティブコミュニケーション	1月25日	Zoom 研修	4
郡山市の認定調査について	2月21日	Zoom 研修	7
介護事業所のためのBCP作成セミナー	3月9日	Zoom 研修	7
「適切なケアマネジメント手法」普及セミナー	3月16日	Zoom 研修	7
現任調査員研修会	3月22日～ 28日	Zoom 研修	7
		延べ人数	58

③ 実習生受入状況

学校・団体数	受入人数	受入日数
2か所	16人	延べ9日

(3) 指定特定・障がい児相談支援事業及び障がい者相談支援事業

① 計画相談

○利用者の状況

(単位：人)

年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	対前年度比
人 数	401	334	+67

○収入の状況（国保連請求額）（単位：円）

年 度	令和4年度	令和3年度	対前年度比
金 額	5,604,660	4,886,580	+718,080

② 障害児相談

○利用者の状況（単位：人）

年 度	令和4年度	令和3年度	対前年度比
人 数	247	237	+10

○収入の状況（郡山市等）（単位：円）

年 度	令和4年度	令和3年度	対前年度比
金 額	3,956,860	3,608,530	+348,330

③ 障害区分認定調査事業

○利用者の状況（単位：人）

年 度	令和4年度	令和3年度	対前年度比
人 数	82	65	+17

○収入の状況（郡山市等）（単位：円）

年 度	令和4年度	令和3年度	対前年度比
金 額	557,600	442,000	+115,600

④ 委託相談

○利用者の状況（単位：人）

年 度	令和4年度	令和3年度	対前年度比
人 数	763	645	+118

⑤ 養成・研修事業（外部研修等への職員派遣）

研修名	期日	開催地	人数
希望ヶ丘学園療育指導研修会	5月16日	郡山市	1
令和4年度初任者1年目研修	6月24日	郡山市	1
福島県障がい者相談支援従事者養成研修	7月13日、14日	Zoom研修	1
県中圏域相談支援従事者研修①	7月15日	郡山市	1
令和4年度第4回事例検討会	7月20日	郡山市	1
福島県障がい者相談支援従事者現任研修①	7月29日	郡山市	1
福島県障がい者相談支援従事者養成研修 （実地研修）	8月8日	郡山市	1
福島県障がい者相談支援従事者現任研修	8月19日	Zoom研修	1
令和4年度初任者1年目研修	8月26日	郡山市	1
福島県障がい者相談支援従事者現任研修 （実地研修）	8月29日	須賀川市	1
福島県障がい者相談支援従事者現任研修	9月7日	郡山市	1

令和4年度第1回成年後見セミナー	9月8日	Z o o n	5
福島県障がい者相談支援従事者現任研修 (実地研修)	9月27日	郡山市	1
福島県障がい者相談支援従事者養成研修	9月27日、 28日、29日	郡山市	1
福島県障がい者相談支援従事者現任研修	9月30日	郡山市	1
福島県障害支援区分認定調査員フォローアップ研修会	10月14日	Zoom研修	2
令和4年度第7回事例検討会	10月20日	郡山市	1
令和4年度初任者1年目研修	10月28日	郡山市	1
福島県障がい者相談支援従事者養成研修	11月8日、9日、 10日	郡山市	1
介護と障がいの連携マニュアル勉強会	11月21日	郡山市	2
全国相談支援ネットワーク研修	12月2日、3日	郡山市	2
北海道・東北ブロック障害者相談支援事業 研修	12月5日	オンライン	1
障がい支援区分認定調査員研修会	12月8日	Zoom研修	1
県中圏域相談支援従事者研修	12月14日	石川町	1
共生フォーラム i n 福島 2022	12月19日	郡山市	2
令和4年度初任者1年目研修	12月22日	郡山市	1
郡山市社協職員向け研修会 (おとなのワー クショップ)	1月16日	郡山市	1
介護と障がいの連携に関する勉強会	1月20日	郡山市	2
郡山市障がい者基幹相談支援センター主催 虐待防止研修	2月3日、7日	郡山市	4
福島県相談支援専門員協会全体研修会	2月11日	郡山市	1
令和4年度初任者1年目研修	2月22日	郡山市	1
あだち地域「野中式事例検討会」	3月14日	大玉村	1
介護と障がいの連携に関する勉強会	3月17日	Z o o m	1
令和4年度第2回成年後見セミナー	3月23日	郡山市	2
		延べ人数	47

(4) 障がい者基幹相談支援センター事業の受託

① 業務実績件数

業 務 分 類	項 目	実施件数
人 財 共 成	①各種研修会 (準備)	423
	②事例検討会	9
	③新人相談員のフォローアップ (個別)	24
	④新人相談員の研修会	41
	⑤その他の研修	139
相談体制強化	⑥委託相談連絡会への参加	42
	⑦各種会議への参加	188

	⑧各種研修会への参加	47
	⑨各種研修会の企画	69
	⑩各種研修会の講師	77
	⑪新規相談支援事業所の立ち上げ支援	8
	⑫新規相談支援事業所のフォローアップ	4
	⑬医療との連携	68
	⑭司法との連携	48
	⑮教育分野との連携	20
	⑯子ども分野との連携	37
	⑰就労分野との連携	17
	⑱行政との連携	563
	⑲住宅関係機関との連携	6
	⑳介護分野との連携	90
	㉑相談支援事業所との連携	248
	㉒障害福祉サービス事業所との連携	208
	㉓当事者の会との連携	10
	㉔家族会との連携	1
	㉕協議会との連携	1
	㉖その他	269
専 門 相 談	㉗相談支援業務における指導・助言	257
	㉘現地訪問への同行及びアドバイス	137
	㉙ケース会議等への出席	65
	㉚情報収集・提供	1,138
	㉛直接相談業務	783
	㉜その他	221
権 利 擁 護	㉝虐待防止センター業務	182
	㉞成年後見制度利用支援	8
	㉟その他	39
地 域 移 行	㊱地域移行支援推進のための働きかけ	17
	㊲地域の受け皿の整備のための働きかけ	6
	㊳地域資源の情報収集・発信	1
自立支援協議会	㊴各種会議・専門部会等への参加	186
	㊵事務局業務等	747
	㊶その他	205
合 計		6,649

② 定例会議への参画

○ 市 内

委託相談支援事業所連絡会
郡山市・基幹センター合同会議
郡山市自立支援協議会全体会

郡山市自立支援協議会運営会議
 郡山市自立支援協議会事務局会議
 郡山市自立支援協議会こども支援部会
 郡山市自立支援協議会自立生活支援部会
 郡山市自立支援協議会就労支援部会
 日中支援型GH評価会議
 郡山市障がい者地域生活拠点ワーキング
 介護との連携会議
 七福人会議
 郡山市セーフコミュニティ推進協議会自殺予防対策委員会
 郡山市新型コロナウイルスワクチン接種専門委員会
 郡山市生活困窮者自立支援地域ネットワーク協議会
 郡山市いじめ問題調査委員会

○ 県 中

県中地域障害者就業・生活支援センター運営連絡調整会
 県中圏域人材育成ワーキンググループ
 県中圏域基幹相談支援センター連絡会

○ 双葉地方

双葉地方地域自立支援協議会全体会
 双葉地方地域自立支援協議会連絡会
 双葉郡8町村・相談支援事業所合同会議
 双葉郡障害者虐待対応・防止ネットワーク会議

○ 県

福島県自立支援協議会人材育成部会
 福島県精神障がい者地域移行・地域定着促進検討会
 基幹相談支援センター連携会議

③ 養成・研修事業（企画・主催）

研修名	日程	場所
事例検討会	5月20日、6月20日、7月20日、 8月19日、9月20日	市総合福祉センター
計画相談事業所連絡会	8月25日	オンライン
	1月25日	市総合福祉センター
一年目相談員研修会	6月24日、8月26日、10月28日、 12月22日、2月22日	市総合福祉センター
二年目相談員研修会	5月26日、7月29日、11月25日、 1月26日	市総合福祉センター

④ 養成・研修等事業（研修等への職員の派遣）

研修名	日程	場所	人数
福島県障害福祉サービス事業者ファシリテーター研修	6月2日～3日	県男女共生センター	1

令和4年度福島県障がい者相談支援 (障がい者ケアマネジメント) 従事 者現任研修	7月29日 8月19日 9月7日 9月30日	市総合福祉 センター	2
令和4年度福島県障がい者相談支援 (障がい者ケアマネジメント) 従事 者養成研修	7月13日～14日	オンライン	2
	9月12日～14日 9月27日～29日	市総合福祉 センター	
令和4年度福島県障がい者相談支援 (障がい者ケアマネジメント) 従事 者専門コース別研修〈意思決定支 援〉	8月5日	オンライン	1
令和4年度福島県障がい者相談支援 (障がい者ケアマネジメント) 従事 者専門コース別研修〈災害時の個別 支援とBCP〉	8月30日	オンライン	1
令和4年度福島県障がい者相談支援 (障がい者ケアマネジメント) 従事 者主任相談支援専門員フォローアッ プ研修	12月8日～9日	市総合福祉 センター	1
		延べ人数	8

⑤ 外部研修等への職員の派遣（講師）

研修名	期日	会場	人数
福島県障害福祉サービス事業者ファシ リテーター研修	6月3日	県男女共生 センター	1
令和4年度第2回まなびあいサロン	6月27日	県立聴覚支 援学校	1
令和4年度精神保健福祉関係職員基礎 研修	6月29日	オンライン	1
石川地方事例検討会	7月8日 9月9日	エンジェル 園	1
令和4年度福島県障がい者相談支援 (障がい者ケアマネジメント) 従事者 現任研修	7月29日	市総合福祉 センター	1
田村地方相談支援従事者スキルアップ 研修	8月23日	三春町役場	1人
あだち地域実践型 GSV 研修	10月4日 11月17日 12月27日 1月19日 3月14日	西部ふれあ いセンター	1
手話奉仕員養成研修講座	10月8日	市総合福祉 センター	1
令和4年度福島県障がい者相談支援 (障がい者ケアマネジメント) 従事者	12月8日～9日	市総合福祉 センター	1

主任相談支援専門員フォローアップ研修			
近藤式アセスメントの活用	1月27日	いわき市中央台公民館	1
特別支援学校初任者研修	2月2日	県特別支援教育センター	2
居宅介護支援事業所合同研修	2月16日	JA福島さくら本店	1
令和4年度福島県職員福祉職連絡会	2月21日	県中児童相談所	1
田村地方学びの場研修	3月1日	田村市役所	1
須賀川地方管内相談支援専門員及び介護支援専門員、地域包括支援センター職員合同研修会	3月16日	須賀川市役所	1
		延べ人数	16

⑥ 研修への参加

研修名	期日	会場	人数
令和4年度県中圏域で相談支援従事者現任研修受講を予定されている方向け学習会	5月23日	市総合福祉センター	1
福島県障害福祉サービス事業者ファシリテーター養成研修	6月2日	県男女共生センター	1
福島県障害福祉サービス事業者ファシリテーター現任研修	6月3日	県男女共生センター	1
令和4年度福島県障がい者相談支援（障がい者ケアマネジメント）従事者養成研修	7月13日～14日	オンライン	1
	9月12日～14日	市総合福祉センター	
認定調査フォローアップ研修	10月14日	オンライン	1
相談支援専門員スキルアップ研修会	11月24日	会津若松市北会津支所	1
障がい者虐待に関する研修会	11月30日	オンライン	3
令和4年度福島県障がい者相談支援（障がい者ケアマネジメント）従事者主任相談支援専門員フォローアップ研修	12月8日～9日	市総合福祉センター	2
ヤングケアラー研修	12月12日	市総合福祉センター	1
令和4年度県中圏域相談支援従事者研修会	12月14日	石川町文教福祉複合施設	4
共生社会フォーラム	12月19日～20日	市総合福祉センター	1
CAP研修会	1月16日	市総合福祉センター	2

令和4年度介護セミナー ヤングケアラーを関係者が支えるために	2月1日	オンライン	1
愛知県半田市社会福祉協議会視察研修	2月13日～15日	愛知県半田市社会福祉協議会	2
		延べ人数	22

⑦ 外部への職員の委嘱

- ・郡山市セーフコミュニティ推進協議会自殺予防対策委員
- ・郡山市いじめ問題調査委員

(5) 障がい者虐待防止センター事業の受託

① 虐待業務

- ・新規14人、継続8人
- ・虐待認定8人（継続含む）、虐待疑い14人

ア. 相談・通報・届出件数 (単位：件)

相談・通報者	計
本人	6
家族・親族	3
相談支援専門員・障害福祉施設従事者	8
病院	0
司法関係	0
行政関係	11
関係機関	1
合計	29

イ. 虐待の種類（重複あり）（単位：人）

身体的虐待	10
性的虐待	2
心理的虐待	10
放棄・放置（ネグレクト）	3
経済的虐待	3
合計	28

ウ. 支援方法 (単位：件)

会議	32
聞き取り・面接・訪問	41
同行支援	15
合計	88

※実人数 22人

② 啓発活動

- ・郡山市障がい者虐待防止研修会
日 時：令和5年2月3日（金） 午後2時～

内 容：障がい者虐待防止についての講義およびグループワークによる演習
「虐待ゼロのまち郡山を目指して」
講 師：田原市障がい者総合相談センター センター長 新井在慶氏
参加者：47 人

・障がい者虐待防止出前研修

日程	場所
10月19日	郡山市緑豊園
1月18日	ほっと福祉記念会 コスモス会

③その他

- ・郡山市高齢者虐待防止連絡会議・郡山市障害者虐待防止連絡会議
- ・あぶくま法律事務所関根弁護士を招いて助言いただいた。

(6) 障がい児（者）専門相談支援事業（新規 R4.4月～ 福島県受託事業）

① 対象地域：県北南部（二本松市・大玉村・本宮市）

1 障がい児（者）専門相談支援事業		
		対応件数
整備（1） 市町村支援体制 への助言・指導	a ネットワークの構築に向けた指導・調整	6
	b 対応困難な事例に係る助言等	14
	c 専門的システムの立ち上げ支援	1
	d 広域的な課題への体制整備の支援	6
	e 相談支援従事者の支援技術向上	3
	f 地域の社会資源の点検、開発に関する支援	4
	計	34
支援（2） めらるるが 専門性が高い 相談相求	a 発達障がい児（者）の支援	0
	b 広域的支援を要する相談支援	0
	c その他	0
	計	0
(1) と (2) の合計		34

2 障がい児療育等支援事業				
	医師	その他専門家	施設職員	計
(1) 訪問による療育支援	0	0	0	0
(2) 外来による療育支援	0	0	0	0
(3) 療育機関への支援	0	0	0	0
計	0	0	0	0

長期目標（圏域の目指すべき姿）	
項目	実績
相談支援体制強化	各市町村担当者や基幹相談支援センター、委託相談支援事業所、指定特定相談支援事業所等と連携を図りながら、現

	<p>状把握を行い、課題解決に向けて圏域の相談支援体制の整備と強化に寄与する。</p>
--	---

短期目標	目標設定			
	項目	成果・実績	難易度	ウェイト (%)
目標①	社会資源調査、点検、評価	<p>社会資源の調査について、計画相談支援事業所が明らかに足りていない・1事業所が多くのケースを抱えていることが明らかになった。丁寧な相談支援を現在ではできているが若手の相談員も育てていない様子もあり、近い将来さらに不足に陥るのではないかと危惧される。それに対してのアプローチはまだ行えていない。</p> <p>第1期で出た医ケア児の受け入れ、高度な精神科医療を提供できる医療機関がないとの課題に付け加えて、たむら支援学校への通学について当初利用できていたスクールバスが利用できなくなった件についてあがっている。(第1期)</p> <p>基幹相談支援センター、保健福祉事務所、地域自立支援協議会にて話を伺いながら地域の実情について実態の把握を行った。あだち地域の現状として医ケア児を受け入れる医療機関がなく他圏域に頼らざるを得ない。精神科についても精神科として開業しているところはあるが高度な検査・治療を求めると他地域へ頼らざるを得ないため、これを解消していく事が課題となっている。(第2期)</p> <p>あだち地域の現状として、医ケア児を受け入れる医療機関がなく他圏域に頼らざるを得ない。精神科についても精神科として開業しているところはあるが高度な検査・治療を求めると他地域へ頼らざるを得ないため、これを解消していく事が課題は把握できたところであるが、評価や開発までたどり着けていない。(第3期)</p> <p>あだち地域の現状として、医ケア児を受け入れる医療機関がなく他圏域に頼らざるを得ない。精神科についても精神科として開業しているところはあるが高度な検査・治療を求めると他地域へ頼らざるを得ないため、これを解消していく事が</p>	L	30

		課題は把握できたところである。圏域連絡会にて医療的ケア児の家族のレスパイト先として福島県立医科大学の利用ができないか、要望書を出していく事となった。(第4期)		
目標②	避難者への相談支援体制強化	<p>浪江町からの新規相談が2件、浪江町・富岡町・南相馬市の方で計画相談が介入しているが計画の更新がされていない・モニタリングされていない案件が約10件あった。うち1件は、相談支援事業所の変更調整を行った。残り10件程度について他相談支援事業所へ移管していく方向性として考えている。(第1期)</p> <p>ふたば郡地域自立支援協議会にて県北南部地域におけるアドバイザーの役割について説明を行った。浪江町からの新規相談が1件のみにとどまったが今後、定期相談会が行えないか調整していくところである。(第2期)</p> <p>ふたば郡地域自立支援協議会にて県北南部の避難者支援状況について説明・協議を行ってから基幹ふたば・ふたば8ヶ町村協力のもと、支援(特にモニタリングや計画)が適正に行き届いていない方のピックアップ作業を行ったところである。今後、あだち地域において相談支援事業所が立ち上げられないかアプローチするところである。(第3期)</p> <p>双葉郡よりの避難者への個別ケース対応を行いながら課題の整理を行った。再度、事業所訪問を基幹相談支援センターふたばと実施、相談支援事業所の立ち上げについて打診を行った。しかしながら成果にはつながらなかった。</p> <p>避難者の取り巻く状況としてもいわゆる8050問題があり、今後さらにニーズ把握を行い、双葉郡町村と協議していく必要がある。(第4期)</p>	H	50
目標③	地域における人材育成	日々の業務に追われ自圏域で新たな支援技術を養う機会がないところについての課題について変化なし。相談支援専門員の支援技術向上を図るための研修を10月から3回実施する調整を行った。今後アドバイザー及び人材育成を行える者の介入をさせていく予定。(第1期)	M	20

	<p>相談支援専門員の支援技術の向上を図るための研修を企画調整中である。</p> <p>日々の業務に追われ自圏域で新たな支援技術を養う機会がないところが課題である。今後アドバイザー及び県自立支援協議会人材育成部会担当者を介入させる予定。（第2期）</p> <p>人材育成として基幹相談支援センター・相談支援事業所職員対象にグループスーパービジョン研修を10月から毎月実施している。</p> <p>3月には、愛知県半田市社会福祉協議会前山研一氏をお呼びし野中式事例検討会の研修を実施予定。（第3期）</p> <p>人材育成として基幹相談支援センター・相談支援事業所職員対象にグループスーパービジョン研修を引き続き行うと共に、3月14日に、愛知県半田市社会福祉協議会前山研一氏をお呼びし野中式事例検討会の研修を実施している。（第4期）</p>	
--	---	--

② 対象地域：県中

1 障がい児（者）専門相談支援事業		
		対応件数
整備（1）市町村支援体制への助言・指導	a ネットワークの構築に向けた指導・調整	25
	b 対応困難な事例に係る助言等	6
	c 専門的システムの立ち上げ支援	4
	d 広域的な課題への体制整備の支援	27
	e 相談支援従事者の支援技術向上	21
	f 地域の社会資源の点検、開発に関する支援	10
	計	93
支援（2）専門性が高い相談への直接相談	a 発達障がい児（者）の支援	0
	b 広域的支援を要する相談支援	0
	c その他	0
	計	0
(1) と (2) の合計		93

2 障がい児療育等支援事業				
	医師	その他専門家	施設職員	計
(1) 訪問による療育支援	0	0	0	0
(2) 外来による療育支援	0	0	0	0
(3) 療育機関への支援	0	0	0	0
計	0	0	0	0

長期目標（圏域の目指すべき姿）	
項目	実績
切れ目ない支援体制の構築	県中圏域内各市町村の現状を見える化し、それぞれどこに注力するかを点検、計画立てができる。そして、関係各位がそのことの共通認識を持つことが出来る。

短期目標	目標設定			
	項目	成果・実績	難易度	ウェイト (%)
目標①	社会資源調査、点検、評価	<p>田村、石川、須賀川地方の各基幹相談支援センター、各自立支援協議会の運営会議や部会等へ訪問し地域課題の収集を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 田村地域について、協議会の合同設置（田村市、小野町、三春町）については意見は一致しているが、まとめるにあたり参集者をどの範囲（誰を集めるか）、要綱をどのようにするかで現在ペースが緩やかになっている。 石川地域について、拠点整備について誰がどのように行うか検討している段階であるが市町村と基幹相談支援センター等との協働体制が脆弱であることが課題である。 須賀川地域については、拠点の話が地域全体で話し合えていないことが課題となっている。（第1期） <p>田村、石川、須賀川地方の各基幹相談支援センター、各自立支援協議会の運営会議や部会等へ訪問し地域課題に対して助言等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 田村地域について、協議会の合同設置（田村市、小野町、三春町）については、3市町間での合意がなされ令和5年度より合同設置となった。 石川地域について、拠点整備について拠点及び医療的ケア児コーディネーターを兼務として1人令和5年度配置の流れとなった。誰がどのように行うか検討している段階である。人材確保が課題。 須賀川地域については、拠点整備の話が須賀川市役所を中心としての話し合いになっているが、進行速度が緩やかであり、現在は他市町村の情報収集までとなっている。また、委託と計画の兼務事業 	L	30

		<p>所の役割の整理について進めているところであり、助言しているところでもある。(第2期)</p> <p>田村、石川、須賀川地方の各基幹相談支援センター、各自立支援協議会の運営会議や部会等へ訪問し地域課題に対して助言等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・田村地域について、協議会の合同設置(田村市、小野町、三春町)については、3市町間での合意で5年度設置の話し合いが確実に行われている。人員1名不足。・石川地域について、拠点整備について町村と委託候補の法人間で話し合いがつかず棚上げになっている。このままの状況で令和5年度末まで行くようであれば町村単独設置にするとのこと。・須賀川地域については、拠点整備の話が須賀川市役所を中心とした話し合いになっているが、依然として進行速度が緩やかである。委託相談と計画相談の明確化であるが現状も進めているところ。全般の課題としては人材確保と育成であり。特に若い世代の相談支援専門員が必要である。(第3期) <p>田村、石川、須賀川地方の各基幹相談支援センター、各自立支援協議会の運営会議や部会等へ訪問し地域課題に対して助言等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・田村地域について、協議会の合同設置(田村市、小野町、三春町)で決定し、協議会の体制について検討を進めてきた。今後も合同で実際に協議会を行いながら見直しをかけていく。・石川地域について、基幹の体制について市町村を交えて話をしてきた。拠点整備については現在立ち上げのワーキングにて工程までは話し合っている。しかし、そのような体制で行うかになると、法人同士が譲り合う傾向にある。このままの状況で令和5年度末まで行くようであれば町村単独設置になる。・須賀川地域については、拠点整備の話が須賀川市役所を中心とした話し合いになっているが、年度末になり、須賀川市だけで進めるのは困難との話があり、		
--	--	--	--	--

		ワーキンググループを設置の方向になった。委託相談と計画相談の明確化であるが現状も進めているところ。 全般の課題としては人材確保と育成である。(第4期)		
目標②	児童発達支援センター及び、地域生活支援拠点設置、整備に向けた取り組み	<p>児童発達支援センターについては田村・須賀川地域では立ち上がっている。石川地域ではセンターこそ立ち上がっていないがセンター的機能はエンジェル園ではたしている。センター化について現在協議中とのこと。地域拠点について田村地域ですでに立ち上がっている。石川は立ち上げに向けて市町村、関係機関で協議中。須賀川地域については須賀川市役所主導であり基幹が参画できない状況である。進捗状況は不明。(第1期)</p> <p>児童発達支援センターについては田村・須賀川地域では立ち上がっている。石川地域では拠点整備の話が中心になり、改めて児童発達支援センター立ち上げの話にはなっていない。拠点整備については、目標①のとおり。(第2期)</p> <p>児童発達支援センターについては田村・須賀川地域では立ちあがっている。石川地域では拠点整備の話が中心になり、改めて児童発達支援センター立ち上げの話にはなっていない。拠点整備については、目標①のとおり。(第3期)</p> <p>児童発達支援センターについては田村・須賀川地域では立ちあがっている。石川地域では拠点整備の話が中心になり、改めて児童発達支援センター立ち上げの話にはなっていない。拠点整備については、目標①のとおり。(第4期)</p>	H	20
目標③	わがごとまるごとの地域づくり	<p>精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムや、重層的支援体制整備事業など、現時点の課題で話し合う余地がない。今後、拠点整備にも絡めて話をしていく必要がある。(第1期)</p> <p>第1期と変わりなし。精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムや重層的支援体制整備事業など、現時点の課題解決がなされない中で話し合う余地がない。今後、拠点整備にも絡めて話をしていく必要がある。(第2期)</p>	H	20

		<p>第1期と変わりなし。精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムや重層的支援体制整備事業など、現時点の課題解決がなされない中で話し合う余地がない。今後、拠点整備にも絡めて話をしていく必要がある。(第3期)</p> <p>第1期と変わりなし。精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムや重層的支援体制整備事業など、現時点の課題解決がなされない中で話し合う余地がない。今後、拠点整備にも絡めて話をしていく必要がある。(第4期)</p>		
<p>目標④</p>	<p>多職種連携に向けた取り組み</p>	<p>介護保険への穏やかな移行については郡山市の事例・マニュアルを紹介したところであり、今後、各地域で取り組んでいきたいとのことであった。児童期におけるライフステージの部分については話し合いがされておらず、特に障害児入所施設・児童養護施設からの移行に際し施設から施設ではなく、施設から地域へという考えで行かなければならない(加齢児問題も含む)ことから最重度の方でも地域で生活できるような社会資源を作っていくかなければならないことが課題である。発達支援マネージャーと協力しながら関係機関との連携体制の充実を図っていくことも必要。(第1期)</p> <p>多職種連携について、現在は福祉と教育の連携について(特に支援学校)話題に出ているところであり、アドバイザーで県中教育事務所訪問。今後、連携を図って行くために後期は教育事務所主催の研修にて相談支援業務や地域課題について話す機会を設けたとともに、教育と福祉間の研修や会議も行う予定となっている。(第2期)</p> <p>多職種連携について、教育と福祉間の研修や会議を通じて連携強化を図っているところである。介護との連携は少しずつ伸びてきている。他分野については、個々に相談員が繋がっているケースは見られるが、地域の仕組みとして繋がってはいない。(第3期)</p> <p>多職種連携について、教育と福祉間の研修や会議を通じて連携強化を図っているところである。介護との連携は少しずつ</p>	M	10

		伸びてきている。他分野については、個々に相談員がつながっているケースは見られるが、地域の仕組みとしてつながってはいない。（第4期）		
目標⑤	地域における人材育成	<p>県中圏域人材育成WGや、各地方基幹相談支援センターと連携しながら、相談支援専門員の支援技術の向上を図る各種研修3地域で行った。また、サービス管理責任者の支援技術の向上については、今後研修体制の基盤作りを行う必要がある。（第1期）</p> <p>県中圏域基幹相談支援センター連携会議を立ち上げた。その中で意見交換・情報共有しながら基幹の課題の解決を行っている。直接的な人材育成については、田村・石川地域へ出向き事例検討などの手法について指導を行っている。今後、地域単位で人材育成が行えるかが課題である。（第2期）</p> <p>県中圏域基幹相談支援センター連携会議を立ち上げた。その中で意見交換・情報共有しながら基幹の課題の解決を引き続き行っている。直接的な人材育成については、田村・石川地域へ出向き事例検討などの手法について指導を行っているところではあるが、田村地域では少しずつ自力で人材育成を行う力が芽生えているところである。（第3期）</p> <p>県中圏域基幹相談支援センター連携会議を立ち上げた。その中で意見交換・情報共有しながら基幹の課題の解決を引き続き行っている。直接的な人材育成については、田村・石川地域へ出向き事例検討などの手法について指導を行っているところではあるが、田村地域では少しずつ自力で人材育成を行う力が芽生えているところである。（第4期）</p>	M	20

区分	内容
H(高)	チャレンジ性が高く、達成に困難が伴うものや、先駆的もしくは画期的なものなど
M(中)	努力すれば達成できる目標（標準レベル）

L(低)	比較的容易で、達成しやすい目標

9. 赤木保育所・希望ヶ丘保育所の運営（保育事業の推進） ～児童福祉～

(1) 児童利用状況

① 赤木保育所【定員 80 人】 (単位：人)

年齢 \ 年度	令和 4 年度 利用人数	令和 3 年度 利用人数	対前年度比
0歳児	96	123	-27
3歳未満児	307	378	-71
3歳児	190	192	-2
4歳以上児	362	285	+77
合 計	955	978	-23

(単位：人)

年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	1	1	1	7	10	10
3歳未満児	26	26	26	26	27	27
3歳児	15	16	15	16	16	16
4歳以上児	30	30	30	30	30	30
合 計	72	73	72	79	83	83

年齢	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	11	11	11	11	11	11	96
3歳未満児	26	26	26	24	24	23	307
3歳児	16	16	16	16	16	16	190
4歳以上児	30	31	31	30	30	30	362
合 計	83	84	84	81	81	80	955

② 希望ヶ丘保育所【定員 140 人】 (単位：人)

年齢 \ 年度	令和 4 年度 利用人数	令和 3 年度 利用人数	対前年度比
0歳児	178	162	+16
3歳未満児	472	505	-33
3歳児	317	313	+4
4歳以上児	663	682	-19
合 計	1,630	1,662	-32

(単位：人)

年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	10	10	11	12	15	16
3歳未満児	41	41	41	41	40	38
3歳児	25	25	26	26	26	27
4歳以上児	54	54	55	55	55	55
合計	130	130	133	134	136	136

年齢	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	16	16	18	18	18	18	178
3歳未満児	38	39	39	38	38	38	472
3歳児	27	27	27	27	27	27	317
4歳以上児	55	56	56	56	56	56	663
合計	136	138	140	139	139	139	1,630

(2) 外部研修等への職員の派遣状況一覧

研修名	期日	開催地	人数	
			赤木	希望ヶ丘
第1回授業と保育の協議会（東方部）	5月11日	郡山市	1	
令和4年度福祉の職場におけるメンタルヘルス研修会	5月20日	オンライン	1	1
令和4年度第1回幼保小合同研修会	5月26日	オンライン	1	1
令和4年度第2回幼保小合同研修会	6月21日	オンライン	1	1
令和4年度事務効率化事発信事業事例発表会開催について	7月6日	オンライン		2
苦情受付者担当研修	7月12日	郡山市	1	
令和4年度第3回幼保小合同研修会	7月27日	オンライン	2	1
令和4年度保育所給食関連職員研修	8月23日	オンライン	1	1
コドモンICT導入説明会	9月1日	オンライン	2	
福島県保育協議会県南支部保育士部会研修会	9月8日	オンライン		1
令和4年度第4回幼保小合同研修会	9月22日	オンライン	1	1
令和4年度「保育の個別計画」研修会	10月4日	郡山市	1	1
第2回「授業と保育の相互参観」（南方部協議会）	10月7日	郡山市		2
第2回「授業と保育の相互参観」（北方部協議会）	10月18日	郡山市		2
第2回「授業と保育の相互参観」（東方部協議会）	10月20日	郡山市	1	2
第2回「授業と保育の相互参観」（西方部協議会）	10月26日	郡山市		2
第2回「授業と保育の相互参観」（中方部協議会）	11月15日	郡山市		2

県南支部給食担当者部会研修	11月2日	西白河郡	1	
令和4年度第5回幼保小合同研修会	11月21日	オンライン	1	1
令和4年度「保育の個別計画」研修会	12月2日	郡山市		1
就学前施設の事故防止・リスクマネジメント研修	12月20日	オンライン	1	
就学前研修施設の事故防止・リスクマネジメント研修	12月21日	オンライン		6
第1回郡山市保育園協会研修会 「特別な配慮が必要な園児の保護者支援」	1月16日	郡山市	1	1
第3回「授業と保育の相互参観」	1月20日	郡山市	1	
第3回「授業と保育の相互参観」 (中方部協議会)	1月24日	郡山市		1
就学前施設職員のためのコンプライアンス・虐待防止研修	2月16日	オンライン	1	
			延べ人数	30

(3) 実習生の受け入れ

保育所名	学校・団体数	受入人数	受入のべ期間
① 赤木保育所	2か所	3人	30日
② 希望ヶ丘保育所	4か所	8人	110日

10. 関連事業

(1) 共同募金運動・歳末たすけあい運動への協力

- ① 郡山市共同募金委員会運営委員会
[新型コロナウイルス感染症防止の観点から書面審議]
○令和4年6月22日付決議
- ② 郡山市共同募金委員会運営委員会
[新型コロナウイルス感染症防止の観点から書面審議]
○令和4年12月5日付決議

(2) 日本赤十字社事業への協力

- ① 日本赤十字社社員増強運動月間
期 間：令和4年5月1日～31日